

令和5年度 KOKO奏 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

自己評価概要

KOKO奏に勤務するスタッフ（常勤・非常勤含め）11名にR5年12月自己評価表を配布し11名の回答を得られ、集計を行った。

集計後、運営、スタッフ間のミーティングにより改善目標について話し合いを行った。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が機能訓練等スペースとの関係で適切であるか		9	2	規定のスペースは守れているが、ベッド上で過ごす利用者やバギーを利用する方も多く、時間帯によっては狭く感じたり、危険に感じることもある。昨年よりも棚の増設など物品整理を行い、スペースを広げた。 西区に児童発達支援・放課後等デイサービスを新設した。定員を超えた場合、利用者さんの居場所確保として連携していきたい <改善目標>
	2	職員の配置数は適切であるか	6	4	1	配置基準は満たしているが、利用人数により少なく感じたり多く感じたりする場合もある。看護師などは多く配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	5		スロープによって段差はなくバギーが通れるようにしている。外側スロープ部は今年度修繕を行った。南側スロープ奥の波板部床下は不安定部分が出ている→早めの対策が必要と思われる

業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	4	6	1	月に3～4回ミーティングを行い、広く議題を集めて業務改善に向けた話し合いが出来る機会を作り、参加していない職員も議事録の閲覧をしていただくようにしている。意見の出しやすい雰囲気づくりに努めて行きたい。全体ミーティングの他にも看護師ミーティングを開催した。インシデントをきっかけに手技についての統一や注入時の確認方法注入準備スペースの変更等を行った。 外部からの勉強会等が必要と思われる
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	1		保護者アンケート集計後にミーティングを行い、業務改善に向けた話し合いを行っている。
	6	この自己評価の結果を事業者の会報やホームページ等で公開しているか	7	4		ホームページにも載せているが、玄関にファイルを置き、自由に閲覧できるようにしている。 周知が出来ていないのなら毎月発行している奏だより等での周知をしていければ良いと思う。
	7	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか	4	5	2	第三者評価は行っていない。 無回答 1
	8	職員の資質向上を行うために研修の機会を確保しているか	7	3	1	今年度は、強度行動障害支援者研修1名受講、サービス管理責任者及び児童発達管理支援責任者研修2名、その他各専門職において、他の機関が主催して行っている連携研修などに参加を促している。勤務内での研修を可能として、積極的に研修を受けられる体制を作っている。 全体としての勉強会・個々の研鑽が必要と思う。

適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1	1	日々の活動内容などの検討は多職種が関わりながら考え、行っている。 計画書内容の周知、その意図、意義の理解、重要性、法制度上の意味の理解などが全体に必要と考える。 無回答1
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	5	1	アセスメント表にニーズが見えやすいよう、アセスメント表を順次変更して行っている。サポートブックの見直し、更新を行っていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	2	1	日直制を導入し、職員全員が参加して考えられるようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	3		集団活動のテーマを「読み聞かせ・リラクゼーション」「ゲーム」「ダンス・体操」「工作」「音楽活動」と分け、固定化しないよう工夫している。また、季節ごとの行事や誕生日会などの行事も取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援をしているか	5	6		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	4		平日の学校帰りは、集団活動か個別の支援（入浴支援やリハビリ支援など）のどちらかなる事が多いが、長期休みや休日などはどちらも経験できるように職員のコミュニケーションをとりながら支援を行っているが、療育活動のさらなる充実化も必要である

な
支
援
の
提
供

15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	5	2	職員により出勤時間が違う為、支援開始前の打ち合わせが難しいが、その日の活動については、日直を中心に周知し、日程ボードに記載している。また、日々の申し送り事項に漏れがないよう、職員連絡ボードの活用を行っている。
16	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	2	7	4	職員の退勤時間も違っており、全員で集まって打ち合わせは難しい。支援で気づいた点や保護者様からの申し送り事項は連絡ノートなどを通して周知できるようにしているが、漏れていることも多い。漏れなく共有できるよう、声掛け、職員間の意識付けをしていきたい。
17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	3		ミーティングにて記録の書き方についての周知を行っているが、日々やったことのみになりがちで、支援の検証までは出来ていない。支援の検証・改善が考えられるような記録の書き方の研修などが必要と考える。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	3		定期的にモニタリングを行い、専門職（看護師やリハビリ職）などの意見を取り入れながら計画作成を行っている。 児童発達、療育の範囲についての深い定義意味合い、理解度を増す必要性があると考える。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7	3		発達支援だけでなく、保護者の介護負担に対しての家族支援や外出や隣の集会所で行われているイベントに参加し、地域との交流が出来るようにプログラムを組んでいる 無回答 1
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	8	2	1	サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者だけでなく必要な場合はリハビリ職や看護師なども積極的に参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	10	1		保護者様を通して、情報の伝達を行っていただいている。また、学校での様子やデイでの様子などは、学校に送迎に行く際に担任の先生と情報共有している。 学校お迎え時、「チェックファイル」の設置をし、送迎における置き去り防止に努めている。また、車両への置き去り防止装置導入を行い、事故防止に努めている。
	22	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8	2	1	それぞれの主治医から指示書を記載していただき、医療的ケアを行っている。緊急時の連絡先等の確認は行っている物の、関係性が出来ていないため、体調不良時など密に連絡が取れるように関係性を築いていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解につとめているか	6	4	1	本年就学した利用者はいないが、就学する場合はスムーズな移行が出来るように情報共有を行っていきたい。

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス支援事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供する等しているか	8	2	1	今年度は、放課後等デイサービスを卒業となる方はいないが、障害福祉サービスへの移行となる場合は、学校や移行先の施設などと連携を図っていく。また、同施設で生活介護を行っている為、生活介護の体験利用や実習等を積極的に受けている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	5	1	センター主催の連携研修に参加出来るように、職員に周知をし参加した。 無回答 1
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	3	3	外出活動として、地域の婦人会主催のバザーにかけたり、図書館や教会のお祭り等の参加を行った。散歩では近くの児童クラブの子供たちと公園で一緒になった際に声をかけ、交流の一部として行っている。 今後、近くの児童クラブなどに声をかけて交流が出来るようにしていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	5	1	自立支援協議会の子供部会に所属し、地域での困りごとの共有に努めている。 また、東区こども部会主催の「おゆるり競技大会」への参加を積極的に行い、地域の他の放課後等デイサービスとの連携を強めている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題に浮いて共通理解を持っているか	8	1	2	送迎時にその日の体調や様子を伝えられるように努めている。 連絡ノートを活用し、体調ご様子について情報共有を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	2	2	

保護者への説明責任等	30	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	1		利用開始時に児童発達支援管理責任者より説明を行っている。また、いつでも閲覧できるように玄関にファイルを用意している。 感染症など利用基準となるガイドラインなど 変更がある際には適宜お知らせ等文書の配布、質問の受付などを行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	3		送迎時にコミュニケーションをとっている。児の成長に伴うオムツなどの相談などが多い。オムツやクッション、衣服等の情報やサービスを保護者へ伝えていく支援もしていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	3	4	4	保護者会は出来ていないが、ニーズがあることは理解している。参観日など保護者さんも参加できるような活動やおまつりのような地域住民なども参加できるような活動などの検討もしていきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2		苦情や意見があった場合は、速やかに連絡ノートやミーティングを通して周知し、改善に努めていけるようにしている。 無回答1
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2		約1か月に1回奏便りを発行し、活動内容などが分かるようにしている。また個別に活動写真などを配布している。毎週金曜日にInstagramの更新を行い、個人情報に配慮しながら活動の様子が見えやすいようにしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	3		機密保持に関する誓約を職員と結んでいる。

	36	障害のある子どもや保護者との意見の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			絵カードや文字盤、視線や表情での伝達等を児童とのコミュニケーションの中で活用している。 無回答1
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	2	5	3	事業所の行事に招待することはないが、レクリエーションの一環として地域の行事に参加したり、事業所の存在を地域に知っていただくとする努力をしている 参加する際は保護者へ連絡し調整を行いながら実施している。 他法人の障害児・者相談会への参加にご家族との参加を調整し心がけている。今年度は、悪天候により中止になったが、他事業所や地域の方との交流の場となっている。
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	3	1	BCPの見直しを行う。感染症5類以降に関して、ガイドラインを作成しているが、時間が経つと忘れてたり、分かりにくくなっているため、保護者さんに分かりやすい提示方法を考えていく必要がある。 感染症流行の時期には保護者の方との連絡、連携を密にし、感染症の 無回答1
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	5		今年度は、BCPの作成、BCPについての勉強会、避難訓練を計画しているが、まだ行えていない（1月時点） 無回答1
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしているか	3	7		虐待防止研修などの参加を促し、参加した職員から伝達講習を行っている。本年度も虐待研修の動画視聴を不適切支援についてのアンケートを行い、職員の意識を高めて行く予定である 無回答1

守
の
対
応

41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	3		<p>身体拘束などが必要と思われる場合は、個別支援計画書にその旨と注意点を記載し、保護者様にも説明をし了承を得て行っている。また、身体拘束適正化委員会の運用指針に基づいて必要時には所定の様式を使用して身体拘束に関する同意・記録を行っている。</p> <p>無回答1</p>
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の基づく対応がされているか	7	2	2	<p>食事の提供については、保護者様との相談により行っており、基本的には持参していただく場合が多い。提供する場合は、アレルギーや形態などを確認したうえで提供している。また、誤飲や接触がない様にこまめな清掃や提供場所の工夫、職員への周知、活動内容の工夫を行っている</p>
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	2		<p>インシデント・ヒヤリハットについては速やかに報告書を記載し周知したうえで、ミーティングなどで対策を考え共有している。事故発生の経緯を保護者に誠意をもってお伝えし、再発防止に努めている。</p>